

みらい・よつくら

～四倉まちづくり通信 vol.1～



写真：道の駅よつくら港（市撮影）

四倉まちづくり通信“みらい・よつくら”は、市が進めている“まちなか”（市街地）の再生に向けた取組みを、地域の皆様に広くお知らせするものです。

いわき市では、四倉地区の市街地再生に取り組んでいます！

四倉地区は、人口減少等により空き地や空き店舗が増加し、四倉小・中学校や公民館など多くの公共施設は、老朽化が著しく、津波浸水想定区域に立地しており、また、JR四ツ倉駅西側のセメント工場跡地は、遊休地化しているなど、地区全体を俯瞰した土地利用の検討が必要となっています。

これらの状況を踏まえて、市では、市街地の再生に向けて、地域や企業、関係団体の皆様と連携しながら、様々な取組みを進めています。

“第1回 四倉地区まちづくり検討会”を開催しました！

- 第1回 四倉地区まちづくり検討会
（四倉町商工会館2階 大会議室）
- 令和2年8月28日（金）18：30～
- テーマ「四倉地区の課題解決に向けた優先的な取組みの検討」

四倉地区の市街地再生に向けた取組みについて、観光や商業、教育、文化等の各種団体の皆様と幅広く議論するため、検討会を開催しました。

第1回は、行政の担当職員も含め、計37名で意見交換を行いました。



写真：ワークショップの様子①



たくさんの御意見、ありがとうございました!

ワークショップ形式で、日ごろ感じる四倉地区の課題や、解決するための優先的な取組みは何かなどについて議論しました。



写真：ワークショップの様子②

【A班】

- ・ まちなか商店街の活性化が必要。
- ・ 旧住友大阪セメント跡地を利活用して、住んでいる人が楽しめるような新たな魅力拠点づくりが必要。
- ・ 高齢者と子どもが交流でき、且つ楽しめるような空間が必要。
- ・ 歩いて生活できるまちが望ましい。

など

【B班】

- ・ J R 西側の道路は狭隘で老朽化が目立つため、道路整備の必要性がある。
- ・ 現小中学校が津波浸水区域内にあることから、J R 西側に移転する必要がある。もし移転するなら、小中一貫校として整備してはどうか。
- ・ 公共施設も老朽化していることから、J R 西側に集約するのはどうか。

など



写真：ワークショップでの意見

【C班】

- ・ 小中学校の統廃合の検討が必要である。
- ・ 旧住友大阪セメント跡地を有効活用して、新たな魅力拠点づくりが必要。
- ・ J R 西側の道路は狭隘で老朽化が目立つため、整備の検討が必要。
- ・ J R 西側に新たな拠点をつくる際は、通学時の安全性の確保が必要

など

次回のまちづくり検討会では、皆様からいただきました御意見をもとに、具体的な取組みなどについて、議論していきたいと考えています!

四倉まちづくり検討会 今後のスケジュール

開催日	検討項目(案)
第1回(8月28日)	地区の課題解決に向けた優先的な取組みの検討 済
第2回(10月2日)	市街地再生に向けた具体的な取組みの検討
第3回(11月上旬)	市街地再生に向けた事業素案の検討
第4回(3月下旬)	市街地再生に向けた基本構想(案)のとりまとめ

問合せ先 **いわき市 都市建設部 都市計画課 都市再生係**
 電話 **0246-22-7513 (直通)**
 E-mail **toshikeikaku@city.iwaki.lg.jp**